



今年度もあとわずかとなりました。卒業式に向けて、教室からは送る歌の歌声が聞こえてきます。学校全体が、うれしいようなさびしいような雰囲気包まれている今日この頃です。

さて、3学期の図書館アルバムは、「朝の読み聞かせ」の1年間の様子などをお伝えしたいと思います。



「朝の読み聞かせ」が、後閑小学校でいつごろから始まったのかを知るために、図書室に保管されている古い図書便りを調べてみました。

すると平成18年3月2日の図書便りに、「朝読2年半の歩みを振り返り、心に残っている本を教えてください。」という記述を発見しました。

ということは、その日からさかのぼり、H15年9月にスタートしたことがわかります。この9月で16周年ということになりますね！

上の写真は、5年教室での様子。お話の世界を旅した後は、新鮮な気持ちで一日をスタートできますね！



子どもたちは読み聞かせが大好き。
静かに耳を澄ませ、
じっと見つめてくれます。



その表情を間近で見ると、
心を打たれます。



大人も子どももいっしょに楽しむことができるひととき。



いっしょに笑うと、こころもポカポカ。



20分間がとても短く感じられます。



子どもたちとの距離がぐっと近くなるのを感じられます。



読んでもらった本、読んであげた本
1つ1つが忘れられない思い出となることでしょう。

「絵本というひとつの世界を、子どもと共有する喜びは、
子どもの身近にいる大人だけしか得られない、『幸せな特権』です」

(「こどものとも」より)

この喜びを多くの人に感じてほしいです。



3月5日、今年度最後の読み聞かせの日、
子どもたちから感謝のお手紙を手渡しました。
(1年生教室)



ありがとうございました！
来年度もたくさんの読み聞かせを楽しみにしています！

さて、今年度も信越化学労働組合様よりたくさんの寄付をいただきました。



そのおかげで子どもたちからのリクエスト本や
話題の本をたくさん購入することができました。

ありがとうございました！

(写真のほかにも、すでに貸し出された本がたくさんあります)



箱から出されたま新しい寄贈図書をさっそく読み始める子どもたち。



「早く借りたいあ〜」

ここからは、直近の図書室の様子です。



恒例の図書委員さんオリジナルクイズ。第4弾、第5弾とまだまだ続きます。

ある日の20分休み



静かに読書を楽しみたい人はこちらで



牛乳パックとコピー用紙の包装紙で本のストッパーを作ってます。



毎週木曜日に届く「読売 KODOMO 新聞」。
おもしろい情報、役立つ情報が満載！



いつもしおりを作ってくる図書委員さん、K君。(左)
黄色い箱の中にはしおりがいっぱい。

100冊読めたのでごほうびのしおりを選ぶRさん。(右)
「どれにしようかな〜♪」

来年度も子どもたちの「生きる力」を育む図書館を目指します。



図書館アルバムでした。

図書司書 淡路